

## 【業績・論文・学会発表歴等】

- ・ Vector flow mapping(VFM) を用いた収縮機能の評価 ― VFM の現状と臨床応用―  
(第102回獣医循環器学会 定例大会)
- ・ Vector flow mapping(VFM) を用いた収縮機能とエネルギー効率の評価 ― VFM の現状と臨床応用―  
(第4回血流会)
- ・ Vector flow mapping による頻拍誘発性心筋症モデル作成過程における左心室渦流動態の評価  
YIA(Young Investigator Award) 受賞  
(第104回獣医循環器学会 定例大会)
- ・ 異なる原因に起因する僧帽弁前尖の収縮期前方運動 (SAM) を認めた犬2症例に対する診断過程の考察  
(第105回獣医循環器学会 定例大会, 第25回中部小動物臨床研究会年次大会)
- ・ ステップ減圧法を用いた犬猫用血圧計の覚醒下における非観血的血圧測定法の評価  
(第107回獣医循環器学会 定例大会, 第26回 中部小動物臨床研究会年次大会)
- ・ ドッグ健診で発見された少量の心嚢水から心臓リンパ腫を疑った犬の1例  
(第27回中部小動物臨床研究会年次大会)
- ・ 犬猫用自動血圧計 Vet20 による家庭内血圧の評価  
(第110回獣医循環器学会 定例大会)
- ・ 近畿動物医療研修センターにおける僧帽弁形成術後の残存した逆流量とリバースリモデリングに関する検討  
(第111回獣医循環器学会 定例大会)
- ・ 急性肺血栓塞栓症に続発した広範囲な右心の心筋壊死が疑われた犬の1例  
(第115回獣医循環器学会 定例大会)
- ・ アムロジピンの大量摂取により全身性浮腫および低Na血症を来した犬の1例  
(第115回獣医循環器学会 定例大会)
- ・ 右心系に顕著な心内膜線維性肥厚が認められた猫の1例  
(第116回獣医循環器学会 定例大会)
- ・ 心腔内に占拠性病変を形成した心臓血管肉腫に対して化学療法を実施した犬の2例  
(第117回獣医循環器学会 定例大会)

Goya S, Wada T, Shimada K, Hirao D, Tanaka R.(2019): Effects of high-dose alacepril on left atrial pressure and central aortic pressure in awake dogs with mitral valve regurgitation, Vet J, Mar;245:7-11.

Goya S, Wada T, Shimada K, Uemura A, Tanaka R. (2018): Combined cutting balloon and conventional balloon angioplasty in a dog with supra-avalvular pulmonary stenosis, J Vet Med Sci,80(11):1754-1757.

Goya S, Wada T, Shimada K, Hirao D, Tanaka R.(2018) The relationship between systolic vector flow mapping parameters and left ventricular cardiac function in healthy dogs, Heart Vessels, May;33(5):549-560.

Goya S, Wada T, Shimada K, et al.(2017): Effects of postural change on transesophageal echocardiography views and parameters in healthy dogs, J Vet Med Sci, 79(2):380-386.